

ブリタニカが誇る大項目事典の魅力 ～ “いま”の時代を反映した大項目事典 ～

ブリタニカ・ジャパン株式会社

ブリタニカ・オンライン・ジャパンは、日本語の『ブリタニカ国際大百科事典』と英語の *Encyclopædia Britannica*® をベースとした知のポータルサイト。日本はもとより、世界が認める一流の知識人があなたの調査、学習をサポートします。論文やレポート、ビジネス資料の作成など、さまざまなシーンでご利用になれるサービスです。

◆世界一流の頭脳がここに集結

ブリタニカ・オンライン・ジャパンは、ブリタニカ国際大百科事典をベースとした知のポータルサイトです。日本はもとより、世界が認める一流の知識人が日々の疑問、調査、学習をサポートします。論文やレポート、ビジネス資料の作成、日々のちょっとした疑問の解決など、さまざまなシーンでご利用になれるサービスです。

◎小項目事典は「引く事典」

あらゆる情報をすばやく、わかりやすく提供するのが小項目事典の役割。その情報量は圧倒的な 15 万 4,000 項目。引く事典として、最も手軽に知識を吸収できるコンテンツです。

◎大項目事典は「読む事典」

トップレベルの知識をぎっしり詰めこんだ大項目事典。その情報量は、1 項目平均 1 万字、内容は専門書にも匹敵します。まさに読む事典といえます。

◎国際年鑑で「世界の動き」を知る

年 1 回刊行される国際年鑑からは、前年活躍した著名人や世界の国々の動きをまとめた記事を収録。単に情報補給に役立つだけでなく、将来への展望を読み取ることができます。

※米国の大学の約半数のシェアを誇る英語のオンラインサービス Britannica Online も同時にご利用いただけます。

◆大項目事典の魅力

大項目事典は、2006 年 6 月のサービス開始以来、この数年で 1,500 余りの項目が追加され、2012 年 12 月には 2,800 項目近くに達しました。収録分野は、古代に始まり現在にいたるまでの世界および日本の歴史にはかり知れない影響を及ぼした人物、ブリタニカが強みとする西洋の歴史的事項や文化、思想など、多岐にわたります。そして最近では自然科学系分野、特に医学、海洋学、天文学、生物学などを中心に項目の拡充をはかってまいりました。

大項目事典の特徴は、その構成にあります。すなわち、総合的な教養の会得を目指すブリタニカの伝統にのっとり、厳選されたテーマについて、その成り立ち、背景、影響などを、広範かつ詳細に理解することを目的に書かれていることです。1 項目あたりの字数は、小項目事典の約 400 字をはるかに上回る数千から数万字にも及びます。

▼ブリタニカ・オンライン・ジャパンのトップページ



◎“いま”の時代を反映した大項目事典

2012年には人名項目にあの「ジョブズ」と「ゲイツ」を加えました。ここ20年以上にわたって世界を席捲するIT業界の巨人スティーブ・ジョブズとビル・ゲイツの業績や影響力について、総合的かつわかりやすく解説しています。

また、2012年は日本人にとってうれしいニュースがありました。京都大学 iPS 細胞研究所所長の山中伸弥教授のノーベル生理学・医学賞受賞です。山中教授の業績は、大項目事典「分子生物学」「遺伝子」「ウイルス」「核酸」に記されており、彼が手がけた iPS 細胞の開発が画期的であると同時に、これらの学問の発達において大きな流れを形成していることが明らかにされています。たとえば「分子生物学」は1万5000字に及ぶ項目です。分子生物学の定義、その創始から今日にいたるまでの歴史をひもとく、現在残されている課題までをわかりやすく解説しています。ここでは山中教授の業績を、分子生物学における大きな成果として人類に寄与していくものととらえています。

iPS 細胞が、再生医療に安定的に応用できるようになれば、今後は大項目事典「医学史」に加筆されていくことでしょう。なお、この「医学史」は原始～古代エジプトの医術に始まり近現代までの医学の発展、および倫理的な側面から論議的にもなっている生殖医療、新興感染症の脅威まで網羅した、3章16節、総字数7万字に及ぶ長大項目です。ブリタニカ国際大百科事典の大項目事典では、こうした長大項目を読みやすくするため、見出しを階層表示して、項目全体を概観できるようにするとともに、目的の章節にただちに移動できるようになっています。また、文中の人名や事項などの語句から小項目事典へのリンクも、膨大な数が張られています。

ほかにも大項目事典には、2011年の東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故で、その脅威が身近なものとなった放射能の、生物に及ぼす影響について解説した「放射線生物学」、日本近海で発見され有効なエネルギー源として期待されるメタンハイドレートなどについてふれた「海洋資源」、格差社会が生んだ切実な貧困問題について、その要因を分析した「貧困」など、近年の社会・経済情勢に即した項目が拡充されています。その一方で、心的現象について哲学的観点から述べた「心」、日本人の死生観について論じた「死」など、事実の解説にとどまらない、異なる角度から深い考察を加えた項目も多数収録されています。

◎一流の執筆陣

内外の第一人者が自在に健筆をふるっていることも、ブリタニカ・オンライン・ジャパンの魅力のひとつです。執筆陣の高階秀爾氏（「美術」「アングル」「ドラクロア」「藤田嗣治」）、ドナルド・キーン氏（「三島由紀夫」）、ビム・ベンダース氏（「小津安二郎」）、佐藤文隆氏（「相対性理論」）、故岡本太郎氏（「仮面」）など、各界の錚々たる人々がブリタニカ・オンライン・ジャパンに寄稿しています。

◆無料トライアル受付中

ブリタニカ・オンライン・ジャパンに関するお問合わせ・お申込みは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部（電話：03-6310-0518、ファクス：03-6420-1359、e-mail：online@kinokuniya.co.jp）までお願い致します。

*お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm>に則り、取り扱わせて頂きます。

▼大項目事典「分子生物学」

The screenshot shows the Britannica Online Japan interface for the article '分子生物学' (Molecular Biology). The page layout includes a top navigation bar with 'Britannica ONLINE JAPAN' and search options. A left sidebar contains a table of contents for the article, listing sections like '歴史' (History), '分子生物学の発展' (Development of Molecular Biology), and '分子生物学の応用' (Applications of Molecular Biology). The main content area features the title '分子生物学' and a sub-header '分子生物学の歴史' (History of Molecular Biology). The text discusses the field's focus on understanding life through molecular structures and interactions, mentioning key concepts like DNA, proteins, and genetic inheritance. It also notes the field's growth and its impact on various scientific disciplines.